式　　辞

令和新時代幕明けの卒業の日を、このような形で挙行するにあたり、だれもが寂しさを感じていることと思います。しかし、どんな状況にあっても、ここに集う７４名の卒業生の皆さんの瞳の輝きは、これから広げられていくだろう大いなる前途を明るく照らしてくれています。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、ここにご参集いただきましたご来賓、保護者の皆様。お子様の小学校課程の卒業、おめでとうございます。皆様の深き慈しみが、ここにこのように大きく実を結び、今日のお子様の晴れの姿となりましたこと、改めましてお祝い申し上げます。そして我々教職員一同、この大切な小学校課程において、保護者の皆様とともに子育ての一翼を担えたことを心より誇りに思っております。

さて、卒業生の皆さん。あなたたちは、稲西っ子の伝統を引き継ぎ、見事に発展させてくれました。誰かの役に立ちたいと取り組む君たちの姿は、周りの人々の心を豊かにしてくれましたね。そして、まぶしい笑顔がよく似合う君たち。お互いを大切に、温かな声かけができる仲間でいられたこと。下学年の子の手を引いて一緒に遊ぶ姿や、ほほえみを交わしあう姿に、私の心はいつもほんわかと温かくなりました。

そして通学班のリーダーとして、みんなが挨拶できるよう、しっかりと声をかけてくれた君たち・・・。

学年目標の「超えろ」の精神で、幾多の困難に挑み乗り越えていってくれました。失敗することを恐れず、「まずはやってみよう。」と、一歩を踏み出す勇気をこれからも持ち続けてほしいです。「令和の時代にふさわしくあれ。」と、ＰＴＡから皆さんへ卒業証書ホルダーと「日本語の表記」が卒業記念品として贈られています。あなたたちへの強いメッセージです。

いよいよ四月からは、中学生。勉強に運動に、仲間作りに、自分の大いなる「夢」に向かい、胸を張り、自信をみなぎらせ、突き進んでいってほしいと心から願っています。

最後になりましたが、あなたたちの成長は、自分一人の力でなしえたものではありません。あなたたちを陰となり日向となり支えてくださったおうちの方々や地域の方々、仲間、先生･･･・。全ての方々に「ありがとう」の気持ちを心から伝えてほしい。そして、これからもあなたたちの熱烈な応援団でいてもらえるよう、あなた自身が素直にそして明るく前向きに生きていくことを心に誓ってほしいです。

名残は尽きませんが、卒業生の皆さんの輝ける未来が希望に充ち満ちていることを祈念しつつ、私の式辞といたします。

令和二年三月二十五日

各務原市立稲羽西小学校

校長　　吉　野　光　浩